

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火) 【午後】
部 会 名	小学校 国語部会

1 提案テーマ 説明文の文章の工夫を生かした書く活動 ～生き生きと表現する子どもたちを目指して～

2 単元(題材) 説明のしかたについて考えよう『アップとルーズで伝える』
写真と文章で説明しよう『「学校リーフレット」を作ろう』

3 学年 第4学年

4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ① 国語科における基礎的・基本的な知識及び技能の習得とこれらを活用して思考力、判断力、表現力等をはぐくむための年間指導計画、評価計画及び学習指導の工夫
- ・相手や目的に応じて自分の考えを的確に書いたり、発表したりする指導の工夫・改善

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容 [第3学年及び第4学年] B 書くこと

- (1) 一 イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。

6 実践に向けての課題意識

- ・言葉にこだわって文章を読み、筆者の工夫に気付けるようにすること。
- ・筆者の文章の工夫(文章構成、対比、接続語、問いかけ・呼びかけ・投げかけの文)を知り、自分の書く文章に生かせるようにすること。
- ・自分の思いが伝わるように文章の構成を考えたり、読み手が関心をひくように書き方を工夫したりすること。

7 実践の概要

○指導方法の工夫について

- ・既習事項の確認…『いろいろなふね』で説明文の基本構造とその仕組みについての学習。
- ・文章構成図…文章全体を見通して、筆者の考えが伝わりやすい効果的な構成についての学習。

8 成果と課題

- リーフレットの内容を子どもの実態に合わせたことで、書く活動への意欲をもたせることができた。
- 説明文の基本構造が定着していたので、どの子も自分の思いが伝わるように文章を構成することができた。
- 読みとった筆者の書きぶりの工夫を、自分の文章に生かすことができた。
- 二次(文章構成図から筆者の工夫について考える)から三次(自分の思いを文章に表す)へのつながりがありなかった。

9 予想される協議の柱

- ・【読む】から【書く】へどのようにつなげていくかについて
- ・自分の思いをうまく書けない児童への手立てについて